

科目名	建築製図 II	英語科目名	Architectural Drawing II
開講年度・学期	平成 21 年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科・2 年
授業形態	演習	必修 or 選択	必修
単位数	5	単位種類	履修
担当教員	豊川斎赫(前期) 岩城考信(後期・非常勤)	居室(もしくは所属)	
電話		E-mail	
授業の達成目標			
前期：木造・RC 造の基本図面(平面図、断面図、立面図)が読める、描ける。 後期：(1)形をデザインし、グラフィックや立体で表現できる。(2)図面から模型を製作できる。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
前期：授業時の製図作業から評価する。 後期：授業時のエスキスや製作作業と課題作品から評価する。			
評価方法			
前期：提出作品の計画内容と図面の表現技術により評価する。定期試験は行わない。 後期：中間・定期試験は行わず、各課題作品の作業プロセス、完成度、デザイン性で評価する。			
授業内容			
<p>&lt;前期&gt;</p> <p>1. 縮尺と図面表現(1週)</p> <p>2. RC造建物の図面のトレース 平面図(2週)、かなばかり図(2週)、立面図、断面図(3週)</p> <p>3. 木造住宅のトレース 平面図(2週)、立面図、かなばかり詳細図(3週)、構造模型の制作(2週)</p> <p>&lt;後期&gt;</p> <p>1. 小山高専建築学科のロゴマークデザイン(3週)</p> <p>2. ダンボールによる椅子の製作(7週)</p> <p>3. 住宅模型の共同製作(5週)</p>			
キーワード	グラフィック, 椅子, 住宅		
教科書	なし		
参考書	建築製図に関する書籍、建築家の建築ドローイング集、デザイン雑誌など		
小山高専の教育方針①～⑥との対応	②		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
----			
JABEE 基準 1 の (1) との関係	(e), (h)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築製図 I		
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目	建築設計 I		
連絡事項			
<p>・様々な建築図面を見てそれを理解すると共に、建築家のドローイング集やデザイン雑誌などから良い事例を吸収して欲しい。</p> <p>・住宅模型の製作ではグループで町並みをつくるため話し合いや共同作業がある。日頃から受講者間で円滑なコミュニケーションが行なえるように努めて欲しい。</p>			
シラバス作成年月日	2008. 3. 31		